



▲ 6月20日(土) 檜山北高生「ボランティアの会」による温泉ホテル横公園通り(町道)の花植え



▲ 6月26日(金)、(株)伊関組、(有)マークの地域貢献として北檜山保育所園庭の草刈り



▲ 7月4日(土)「後志利別川清流保護の会」によるサケ公園～真栄橋(北檜山区)の河川清掃



▲ 7月5日(日)「一平会」による良留石川(北檜山区)の魚道清掃

町の中で、たくさんの優しい心が咲いていました。檜山北高生の皆さんは、1600本ものマリーゴールドを植えてくれました。とても綺麗な花に温泉ホテルを訪れるお客さまの心も和みます。

「一平会」は魚道清掃を平成5年から行なっています。檜山北部の河川の魚道を調査し、土砂などで機能しなくなった河川の清掃を行い、サクラマスなどが遡上してくる川の環境を守ろうとしているものです。今年は北大大学院の教授や北大生らも参加し、約1時間かけて土砂などを取り除きました。

編集後記

▼7月5日(日)に行われた瀬棚保育所ふれあい運動会に、取材を兼ねて子ども達の応援に行ってきた。子ども達は、練習の成果を一生懸命披露してくれていたのですが、綱引きの2回戦目が終わると泣き声?! 1回戦は勝ったのに、2回戦は負けてしまった。赤組の男の子でした。後日、お母さんに話を聞いたところ、かなりの負けず嫌いなので悔しくて泣いてしまったようです。でも最近見たTV番組で、子どもが負けたり出来ないことを悔しいと思う気持ちが物を覚える段階で重要だという話を思い出して、こういうことがあって子どもは成長していくのかなあ・・・なんて考えながら、子ども達の成長が楽しみにになりました。▼7月7日に檜山中体連の取材で、卓球とサッカーを観戦しました。北檜山中学校のサッカー部は部員が少なく、助っ人を頼んでの参加。それでもまだまだ「イレブン」には足りない人数でした。最初から背負った人数のハンディにも負けず、生徒達は最後までボールを追いつけていました。頑張るせたなっ子達から元気をもらい、私も広報の締め切りに負けないよう頑張ろうと思ったのです。(稲船・丹羽・堀部)

